

一般社団法人日本内科学会令和2年度第2回理事会議事録

1. 日時 令和2年9月9日(水) 14時～15時45分
2. 場所 東京都文京区本郷3丁目28番8号
一般社団法人日本内科学会事務所会議室を開催場所とする Web 会議
3. 理事総数 20名 出席した理事の数 19名
出席者 [理事]
矢富 裕(理事長)、秋田弘毅、張替秀郎、金井隆典、黒川峰夫、南学正臣(副理事長)、森屋恭爾、横手幸太郎、駒津光久、下畑享良、梶波康二、西 慎一、水野敏樹、三輪洋人、神田 隆、日浅陽一、筒井裕之、星野友昭、名越澄子の19名
[監事]
成田一衛、持田 智の2名
[その他出席者]
赤司浩一(第118回講演会会長)、稲垣暢也(第119回講演会会長)、妹尾 浩(第119回講演会準備委員長)、横山彰仁(専門医制度審議会会長)、大平弘正(Internal Medicine 編集主任)、須永眞司(専門医部会会長)の6名
欠席者 [理事]
長谷川好規(副理事長)の1名
[監事]
北園孝成の1名
[その他欠席者]
草場仁志(第118回講演会準備委員長)、川名明彦(日本内科学会雑誌編集主任)の2名

4. 議事の経過及び結果

矢富 裕理事長が議長となり、次の19議案について逐次審議することとなった。今回は Web 会議ソフト(ZOOM)を利用して開催し、情報伝達の即時性と双方向性を確認した後、議事に入った。

第1議案 第117回講演会関係事項

議長より、参加者数の報告があり、了承を得た。また、事務局から LIVE 配信の障害について報告と謝罪が述べられた。

第2議案 第118回講演会関係事項

赤司第118回講演会会長より、講演会の概要と開催方法は前回講演会を踏まえて LIVE 配信(会長講演、招請講演、特別講演)と事前収録の web 配信(教育講演)を予定している、シンポジウムとパネルディスカッションについては今後の状況を見て決めたいとの報告があり、了承を得た。一般演題募集について、今回はオンラインプレゼンテーションとし、発表形式の詳細については今後詰めていく、またプレナリーセッションについては会場からの LIVE 配信とするとの報告があり、了承を得た。

第3議案 学会在り方検討委員会関係報告

議長より、本年度第1回の委員会開催日について報告があり、了承を得た。

第4議案 専門医制度審議会関係事項

(1) 本年度審議会報告

横山審議会会長より、試験委員会報告、救急委員会報告、セルフトレーニング問題の実施、新専門医制度について、内科系サブスペシャリティ協議会、認定更新単位についての報告があり、了承を得た。承認事項として、COVID-19に伴う試験延期、それに伴う受験者不利益事項への配慮についてと J-OSLER 病歴要約二次評価における「処分」取り扱いについて説明があり、各々承認された。また、議長からは内科学会指導医になるための専門医資格に関する条件の見直しについて追加報告があった。

西理事より、日本専門医機構からの専攻医の研修期間中の研修予定病院に関する報告依頼について予め報告するのは難しいのではないかと質問があり、事務局からシーリングに係る地域貢献率の関係から報告いただきたいとの説明があった。

(2) 海外の専門医資格保持者の認定

海外の専門医資格保持者4名の認定内科医資格の申請があり、承認を得た。

第5議案 専門医部会関係報告

須永専門医部会会長より、令和3年度予算の件と支部細則変更の件について説明があり、承認を得た。また、令和2年度事業報告、事業計画の件と令和2年度各支部の活動報告、企画の部会内評価、コロナ禍における役員任期等について報告があり、了承を得た。

第6議案 学術集会運営委員会関係報告

三輪委員長より、本年度委員会の報告、第119回講演会の計画のアウトライン等についての報告と事務局と稲垣第119回講演会会長から第48回及び第49回の内科学の展望について報告があり、了承を得た。今後、新型コロナウイルス感染症拡大に配慮してハイブリット形式での開催となった第117回講演会の開催結果を踏まえて、新しい学術集会の様式として講演

会の開催方法や一般演題の在り方等について検討していく予定であり、理事の方々にも意見を寄せていただきたいとの発言があった。その際に名越理事より 117 回の参加者の年齢、性別などの内訳について LIVE 配信で変化があったのか調査していただきたいとの依頼があり、可能な範囲で調査することとなった。

また、議長から、一般演題応募の際の倫理審査の自己申告については、日本医学会連合で取りまとめを行っている「学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」が、ゲノム指針、医学会系指針の統合が現在検討されているため最終的な決定が持ち越されていることにより昨年同様の方式で行うこととなったとの説明があった。

第 7 議案 生涯教育委員会関係報告

西担当理事より、本年度講演会の A、B、C の各セッションの第 1 回目が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止になったことと各第 2 回目の開催については LIVE 配信を主体としたハイブリット形式の事前登録制で開催すること、2021 年度生涯教育講演会開催計画の報告があり、了承を得た。また、講演に係る著作権については、委員会で再度手引書の細部の詰めを行った上、理事会へ諮った後、会員へパブリックコメントを行いたいとの説明があった。また事務局から A、B、C の各セッションの会場の定員数について三密回避を踏まえて設定したこと、LIVE 配信の定員についても従来の参加者数を踏まえて設定したとの追加説明があった。

第 8 議案 学術誌編集委員会関係事項

(1) 日本内科学会雑誌編集委員会報告

日浅担当理事より、日本内科学会雑誌の本年度の発行状況と既に決まった特集号の内容や特別掲載の内容等について報告があり、了承を得た。

(2) Internal Medicine 編集委員会報告

大平編集主任より、Internal Medicine の本年度の Online Journal の発行状況と投稿数、採択率ならび採択数、Impact Factor (1.005)、新型コロナウイルス感染症関連論文の投稿状況について報告があり、了承を得た。

第 9 議案 総務委員会関係報告

(1) 本年度委員会報告

議長より、本年度委員会の報告があり、了承を得た。

(2) 令和 3 年度名誉会員、功労会員候補者について

議長より、令和 3 年度名誉会員、功労会員候補者について説明があり、承認を得た。

(3) 令和 3 年度理事、各委員会委員候補者の推薦依頼について

議長より、支部からの令和 3 年度理事、各委員会委員候補者推薦の依頼について説明があり、了承を得た。

(4) 評議員の推薦依頼について

議長より、令和 3 年度の大学、教育病院および各支部からの各評議員候補者推薦の依頼について説明があり、了承を得た。

(5) 規程の変更等について

議長より、「AI プロジェクト委員会規程」の制定について説明があり、原案の通り承認された。

(6) 行政処分かかる会員の処分について

議長より、厚生労働省の行政処分（令和 2 年 1 月 7 日発効）を受けた会員 1 名に対して提示資料の通り処分したいとの提案があり、承認を得た。

第 10 議案 医療安全委員会関係報告

議長より、本年度委員会の報告があり、了承を得た。

第 11 議案 倫理委員会関係報告

第 6 議案 学術集会運営委員会関係報告にて報告済のため省略。

第 12 議案 AI プロジェクト委員会関係報告

南学委員長より、本年度委員会の報告があり、了承を得た。

第 13 議案 COVID-19 対策チーム関係報告

議長より、対策チームの活動状況について報告があり、了承を得た。

第 14 議案 支部関係事項

(1) 新型コロナウイルス感染症下における地方会の開催について

星野担当理事より、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況下における各地方会の開催状況について報告があり、了承を得た。

(2) 令和 3 年度支部助成金について

星野担当理事より、令和 3 年度の支部助成金額について別紙資料の説明と提案があり、承認を得た。

(3) 本年度支部代表者会議の開催について

星野担当理事より、本年度の支部代表者会議の開催日程について報告があり、了承を得た。

第 15 議案 新入会者の件

議長より、本年 5 月 21 日から本年 9 月 8 日までに 401 名の入会者があったとの報告があり、承認を得た。

第 16 議案 日本専門医機構関係報告

事務局より、第 4 期執行部の発足、サブスペシャリティ研修細則および総合診療専門医の各々の進捗状況について説明があり、了承を得た。

第17議案 日本医学会連合関係報告

議長より、日本医学会連合「領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループ」への参画について依頼があったとの報告の後、既に日本老年学会理事長の立場で参加している秋下雅弘先生に本会からの委員の兼任をお願いしたとの報告があり、了承を得た。また、日本医学会連合からの依頼事項については理事の先生方の意見を伺った上、副理事長と相談し回答しているとの説明の後、今後も協力をお願いしたいとの発言があった。

第18議案 疾病予防（リスク病態も認めない集団に対する0次予防も含め）への取り組みについて

議長より、脳心血管病協議会から脳心血管病予防啓発活動の実務についての協力依頼があったとの報告の後、実務主体的立場となることは控えさせていただき、協議会に参加する一学会として引き続き支援していくと回答したとの報告があり、了承を得た。また、議長から提案の趣旨である疾病の予防活動自体は重要であり、その取り組みについて本会でも検討してはどうかとの発言の後、本会代表として協議会に参加している梶波理事より、引き続き本会に協力をお願いしたい、予防活動に対する本会の取り組みについては学会在り方検討委員会で協議を始めたいとの意見があり、了承を得た。

第19議案 その他

議長より、今後の理事会等開催日程について報告があり、了承を得た。

議長より、事前に用意した議案は以上だが他にないか諮ったところ、張替理事からサブスペシャルティ協議会開催の要望と金井理事から第117回講演会の会場参加者は高齢者の方が多かったことから、次回は新型コロナウイルス感染症について高齢者対策を考えてはどうかとの意見があった。また、水野理事から研修プログラムの連携枠による専攻医リクルートの厳しい現状の説明の後、シーリング撤廃について引き続き日本専門医機構と協議をお願いしたいとの意見があった。横山審議会会長から、シーリングについては、内科領域はシーリングから外して欲しいと従来から主張しており、引き続き要望したいとの発言があった。

以上により本日の議事を終了し、議長の閉会の挨拶のあと散会した。

令和2年9月9日

一般社団法人日本内科学会理事会 議長（理事長） 矢富 裕

議事録署名人（監事） 成田 一衛

議事録署名人（監事） 持田 智